

ドリルビットシャープナー BS-200

鉄工用ドリル再研磨用

取扱説明書

- 安全にご使用頂くために、必ず取扱説明書をお読みの上、ご使用下さい。
- 取扱説明書は、当製品を使用されなくなるまで、なくさないように大切に保管して下さい。

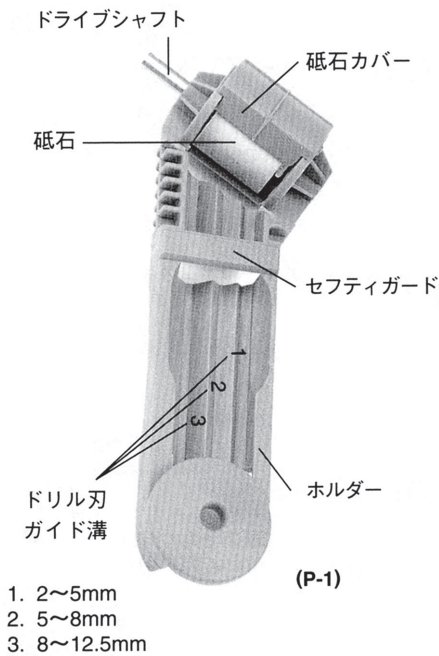
◇目次◇

- ページ
- 2 各部の名称
 - 3 安全上の注意事項
 - 4-5 ご使用方法
 - 6 保管方法

発売元：藤原産業株式会社
兵庫県三木市福井2115-1
TEL. 0794-86-8200(代)

MADE IN IRLAND 1

製品各部の名称



安全上の注意事項 ⚠

- 電気ドリルの取り扱いは、電気ドリルの取り扱い説明書をお読みの上、正しくご使用下さい。
- ドリルチャックは三方から均等に締めつけて下さい。
- ご使用中は必ず保護メガネを着用して下さい。
- 回転中の砥石には手を触れないで下さい。
- 周囲に人がいないことを確かめて作業して下さい。
- 用途以外の使用はしないで下さい。鉄工用ドリル専用です。コンクリート用ドリル、木工用ドリルには使用できません。

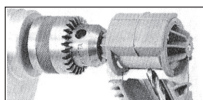
2

3

ご使用方法

- ① 電気ドリルのチャックにドライブシャフトを差し込みチャックを三方から均等に締めつけて下さい。

- ② 安全のために、保護メガネを着用して下さい。(P-2)



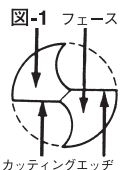
- ③ 電気ドリルの回転は正回転(右回り)にセットして下さい。電気ドリルは最高回転(2000~3500RPM)でご使用下さい。

- ④ ドリルビットは、(P-1)を参考にして、サイズに合った溝で御使用下さい。

ドリル刃ガイド溝	適応ドリルサイズ
1	2~5mm
2	5~8mm
3	8~12.5mm

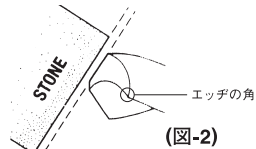
- ⑤ ドリル刃はカッティングエッジが2つあります。まず片方を砥ぎ次にもう一方を砥いで下さい。

- ▶注意 2つの刃が均等になる様に砥いで下さい。



4

- ⑥ 回転している砥石にドリル刃をあてる前に、まずカッティングエッジと砥石が平行になる様に合わせて下さい。(下図参照)



- ⑦ セフティガードの後から親指でドリル刃を押え、砥石を回転させ、砥石に軽く約2秒程度押し当てて下さい。(まずカッティングエッジを研磨します。)

- ▶注意 ●ドリル刃を押し当てる際はひねらずに⑥で合わせた状態でまっすぐに押しして下さい。
●砥石を回転させてから、ドリル刃を当てて下さい。

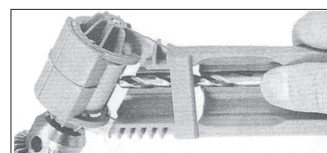
- ⑧ ドリル刃をより強く砥石に当てると自動的にドリル刃のフェースに砥石が当たり研磨できます。

- ▶注意 ●ドリル刃を押し込みすぎると、ドリル刃のエッジの角(図-2)を丸く研磨してしまうため、押しすぎないように注意して下さい。

- 5秒以上連続して砥ぐと、ドリル刃がオーバーヒートし、焼きが戻る恐れがあり、又、オーバーヒートした熱でホルダーの樹脂がとける恐れがあります。

- 回転中の砥石には、手を触れないで下さい。

5



(P-3)

- ⑨ ドリル刃はを砥いだ後、直ちに5秒間冷水につけて下さい。

- ⑩ もう一方のカッティングエッジも同様に砥いで下さい。

- ⑪ 1回の研磨で不十分な場合は数回、繰り返し行なって、砥いで下さい。

- ▶注意 2つのカッティングエッジが同じ長さになるように砥いで下さい。

折れたドリル刃は使用できません。

保管方法

- ご使用後は、ほこり・汚れを取りドライブシャフトに潤滑油をつけて下さい。
- 直射日光のあたらない、乾燥した場所に保管して下さい。
- 幼児の手の届かない所に保管して下さい。

6